

人はなぜ学ぶのか 11

～なぜ勉強・学習しないといけないのか～

敷津小学校 原 雅史



青い水を使った授業の後、担任の先生に「すごく仲の良いクラスで、全員が問題に取り組みでいましたね。」とお伝えしたところ「実はこのクラスもともと、すごく仲が悪くてどうなるかと心配していたのですが、難しい問題をだして、みんなで聞き合って考えてね。」と言いつづけてきただけで、クラスの仲がとてもよくなりましたそうです。

校長先生も今までクラスをつくるときに、もちろん仲の良いクラスをめざしていましたが、そのために、委員会や係などの役割をきめたり、クラスや班で楽しく活動できる行事やイベントをたくさんつくってきました。しかし、授業中に学び合っていくことで、仲の良いクラスができるというのを初めて見て、聞いて、心から驚きました。そして、人が学ぶ理由の一つに、「他の人と仲良くなることができるから学ぶ」ということもあるのだと気づかされました。そして、学びというのは、自分ひとりのものですが、お友だちと学び合うことがとても大切だということにも気づくことができました。

いかがでしたか。少し長くなりましたが、これが校長先生の考える「人はなぜ学ぶのか」の答えです。しかし、途中でも言いましたように、学ぶ理由は「幸せをつかむため」でその幸せは、人それぞれによってちがうもの、だとしたらこの校長先生の答えも、一つの考え方かもしれません。皆さん一人一人が、「なぜ学ぶのか」「なぜ勉強しないといけないのか」ということを、これからも考え続けなくてははいけません。それこそ、「良い学び」になると思います。

そして、「学ぶ」ことでお友だちが増えていきます。お友だちが周りにいれば、さらに良い「学び」ができていきます。学びは一人ではなく、2～4人でするのが一番いいとも言われています。このあたりは、また少し別のお話しになりますので、違う機会に詳しくお話ししていきたいと思います。